

令和8年度(2026年度)第1回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和8年(2026年)4月20日(月) 午後2時30分～午後3時32分

場 所：本部棟2階大会議室及びオンライン

出席者：○委員

学長	堤 裕昭	
副学長	山田 俊	
事務局長	加藤 栄一	
文学部長	米谷 隆史	
環境共生学部長	白土 英樹	
総合管理学部長	宮園 博光	
共通教育センター長	西本 陽一	
地域・研究連携センター長	石橋 康弘	(リモート参加)
デジタルイノベーション推進センター長	森山 賀文	(リモート参加)
国際教育交流センター長	モロー ジェフリー スチュワート	(リモート参加)
熊本大学理事	宮尾 千加子	
株式会社エフエム熊本相談役	荒木 正博	
熊本県公立高等学校校長会長	前田 浩志	

○監事

公認会計士・税理士	吉川 榮一	(リモート参加)
弁護士	本田 悟士	(リモート参加)

○事務局

久保田事務局次長、山下地域・研究連携センター事務長、堀口教務入試課長、嶋川教務入試課入試班長、藤本教務入試課教務班参事、森木教務入試課教務班主事

## 1 開会

開会に先立ち、久保田事務局次長から学長に、本会議運営規程第2条第2項に基づき、議長及び代理の副学長ともに事故があった際の、職務代理者の指名を求める発言があった。学長から、加藤事務局長を代理とするとの発言があり、加藤事務局長の同意もあった。

## 2 学長挨拶

今年度初の教育研究会議、1年間よろしくお願ひしたい。

## 3 議事

### (1) 審議事項

#### ① 令和8年度入学者選抜の実施方針について

事務局教務入試課から、資料1-1、1-2に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・案の内容については、入試委員会及び大学院委員会で審議・承認されたものを提案している。
- ・一般選抜及び特別選抜については、現在認可申請が通った場合には、半導体学部(仮称)も入ってくることになる。それに関連して、総合管理学部の定員数は一部減となっている。

- ・半導体学部(仮称)の特別選抜の日程に関しては、2日間予備で押さえている。
- ・既存の学部については、入学者選抜の日程、実施方法については、ほぼ昨年度と同時期、同様の方法としたいと考えている。
- ・大学院入学者選抜については、新たな取組として、環境共生学研究科及びアドミニストレーション研究科において、学部生の推薦による選抜を行うこととしたい。このことについては、昨年度3月16日の第15回の教育研究会議で実施についてご承認いただいております、今回は選抜区分、日程等について、お示しする。同第15回の本会議で同じく承認いただいた、各研究科の大学院博士課程秋入学の選抜日7月4日に合わせて準備していくこととしたい。その他の点で、昨年度と変更はない。
- ・半導体学部(仮称)の入試広報については認可申請が通ることを見越して、早期に学校訪問等をスタートし、また、県内外学校訪問の範囲も広げる予定。また、熊本県高等学校進学指導連絡協議会や、オープンキャンパス等においても、既に赴任いただいている先生方に加えて、数名協力いただける先生がおられるようであるので、広報を強化していきたいと考えている。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

## ② 環境共生学部の特別選抜入試制度の見直しについて

事務局教務入試課から、資料2に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・日本語能力基準の厳格化や英語試験方式の変更を行うことについて、入学試験委員会で審議了承された概要は次のとおり。
- ・外国人留学生選抜基準の変更については、日本語能力で求めるJASSOの日本留学試験の日本語・理科・数学の各科目に最低点を設け、総合点ではなく各科目ごとに基準を満たす必要があること。
- ・また、英語能力評価方法については、外部試験が近年充実し、他大学も同様の動きをする大学が増えていることもあり、社会人選抜と帰国生徒選抜で、独自問題からTOEIC®L&Rテスト又はIPテストへの切り替えが行い、2年以内の成績を有効とすることとした。
- ・見直しは令和11年度入学者から適用し、変更内容は別添の案内文書にて受験者に周知する。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

## ③ 授業料未納に伴う学生の除籍について

事務局総務課から、資料3に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・令和7年度授業料未納者1名について、これまでの未納の状況、これまでの本人へのアプローチ状況及び本日の審議で了承された場合の今後の流れについて説明があった。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

## (2) 報告事項

① 令和 8 年度一般選抜における追加合格者決定について

事務局教務入試課から、資料 4 に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・ 令和 8 年度(2026 年度)入学者について文学部で 2 名、環境共生学部総合管理学部で 6 名合計 8 名の欠員が生じたため、3 月 28 日午前 8 時から、教務入試課執務室で各学部から電話連絡により、追加合格者決定の手続きを行い、入学定員を確保した。

② 令和 8 年度入学者の状況について

事務局教務入試課から、資料 5 に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・ 今年度の学部入学者数は、定員 480 名に対し、入学者は 503 名で定員の約 105%。県内出身者は 79.7%。各選抜の志願者数の合計は 2,076 志願倍率 4.3 倍と昨年度より 132 名増加した。
- ・ 大学院は、定員 49 名に対し春季入学者は 28 名。

③ 令和 8 年度非常勤講師の採用（追加分）について

事務局教務入試課から、資料 6-1、6-2 に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・ 共通教育センターの 9 科目で、文学部の 2 科目、環境共生学部の 4 科目で、総合管理学部で 1 科目、計 16 科目で新規の非常勤数を 7 名採用した。

④ 「熊本県立大学名誉教授称号授与に関する申し合わせ」の改正について

事務局総務課から、資料 7 に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・ 平成 19 年学校教育法改正前の「助手」は、改正で「助教」と「助手」に分かれたことから、改正以前に学位を保持して研究職であった「助手」に不平等が無いように、在職年数を通算対象とする旨を規定に明記する変更を行う。

⑤ 熊本県立大学食育推進委員会規程の一部改正について

環境共生学部長から、資料 8 に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・ 食育推進委員会に置いて、財務面の議論を強化するため、食育推進委員会の組織に総務課長を加えるために改正する。

⑥ 第 40 回（令和 8 年）管理栄養士国家試験の結果について

環境共生学部長から資料 9 に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・ 本学の新卒者合格率は 92.9%となり、一昨年度まで 3 年連続 100%であったが、2 名が不合格であった。年度計画の目標である 90%は達成した。全国的には新卒はじめ合格率は低下傾向にある。

⑦ 令和 7 年度研究活動上の不正防止対策の実施状況について

地域・研究連携センターから資料 10 に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・ 熊本県立大学における研究活動の不正防止計画に基づき作成した「令和 7 年度(2025 年度)研究活動上の不正防止対策」を資料に示したとおり実施した。
- ・ なお、令和 7 年度(2025 年度)は、研究活動上の不正案件は無かった。

4 その他

次回日程

令和 8 年度(2026 年度)第 2 回 5 月 18 日(月) 午後 2 時 30 分～ 本部棟大会議室

5 閉会